

延滞の学習

(記録・記憶・想起に関する基礎学習)



★教材 (ふたのある箱2個、おもちゃ1個)

8月2日(水)、つばき教育研究所の宮城武久先生とインストラクターの先生3名をお招きして、夏季全校研修「延滞の学習」(記録・記憶・想起に関する基礎学習)を行いました。



<アンケートより>

- ・障害の重い子どもへの指導法を学ぶことができました。
- ・スモールステップで課題に取り組むことの必要性を感じました。
- ・子どもとのかかわり方を見直すきっかけになりました。
- ・声や表情に気を付けて、心からほめることの大切さが分かりました。
- ・子どもが失敗しないための工夫を考えていくようにしたいと思いました。
- ・今後の指導が楽しみになりました。
- ・体験的に学ぶことができて良かったです。



宮城先生の書籍も販売されました。